



児童健全育成・子育て支援者向け研修助成事業

認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク 第27回シンポジウム

メンタルヘルス問題をもつ親のもとで生活する子どもへの支援

子ども虐待の相談件数は依然として増加し続けています。その原因としては、孤立や貧困問題と並んで、親のメンタルヘルス問題が挙げられています。こうした親元で暮らす子どもたちは、親の抱える問題から、十分なケアを受けられなかったり、暴力を受けたりすることがあります。また、周囲にいる方々が、こうした子どもたちにのしかかる課題に気づかなかつたり、気づいていても適切な対応が取れなかったりすることが少なくありません。

昨年は、「メンタルヘルス問題をもつ親のもとで生活する子どもへの支援」をめぐって、児童福祉と精神保健福祉の連携の重要性をテーマにシンポジウムを開催しました。

今回のシンポジウムでは、昨年の内容を踏まえ、さらにテーマを掘り下げ、子どもたちへの影響、必要な支援と課題について集中的に考えたいと思います。多くの皆様にご参加いただけましたら幸いです。

日時 平成30年 **2月4日(日)** 13:00~16:40 (開場12:30)

会場 TKP 新橋カンファレンスセンター 3階 (ホール3A)
東京都港区西新橋 1-15-1 大手町建物田村町ビル

参加費無料

定員 120名
事前申込不要
託児あり

託児を希望される方は、1月26日(金)までにメールでご連絡ください。
※人数に限りがあります。

基調講演
(60分)

「家庭支援の実際 精神的な課題をもつ家庭への支援」

田中 哲 氏 (東京都立小児総合医療センター副院長・子ども家族支援部門長)

●シンポジスト

辻本直子 氏 (有限会社オラシオン 代表取締役、精神保健福祉士)

「精神疾患のある親と子の暮らし～精神科訪問看護の現場から」

土田幸子 氏 (鈴鹿医療科学大学 看護学部 准教授)

「成人した子どもの語りからみえてくる精神障害の親と暮らす子どもの生活状況と課題」

坂入健二 氏 (葛飾区子ども総合センター 子ども家庭支援担当係長)

「市区町村の子ども家庭支援現場から見えてくること
～子どもの育ちと保護者のメンタルヘルス問題」

シンポジウム
(90分)

**パネル
ディスカッション**
(40分)

**「メンタルヘルス問題をもつ親のもとで生活する
子どもへの支援」**

●コーディネーター

吉田 恒雄 (児童虐待防止全国ネットワーク 理事長)



アクセス

都営三田線 内幸町駅 A3 出口 徒歩 1分
東京メトロ銀座線 新橋駅 8 番出口 徒歩 3分
JR 新橋駅 日比谷口 徒歩 4分
東京メトロ丸ノ内線/千代田線/日比谷線 霞ヶ関駅
C3 出口 徒歩 7分

<問い合わせ先>

認定 NPO 法人 児童虐待防止全国ネットワーク
〒156-0043 東京都世田谷区松原 1-45-10 KT707A-4B
E-mail info@orangeribbon.jp Tel 03-6380-6380

後援: 内閣府、文部科学省、厚生労働省、一般社団法人日本子ども虐待防止学会、公益財団法人 SBI 子ども希望財団、読売新聞社
協力: 公益財団法人児童育成協会